



TOUOH SSH 通信

やまがたの未来をつくるグローバルな視点を持った科学技術人材育成プログラム

第4号

平成30年5月31日

山形県立
東桜学館 中学校
高等学校

生徒の活動

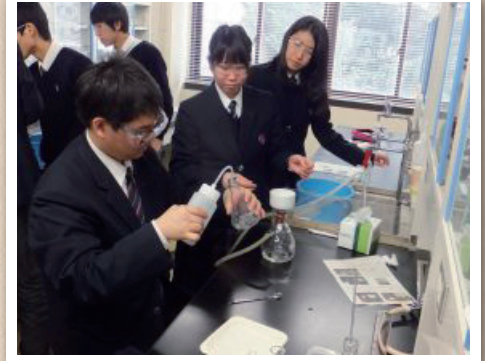
体験型実習講座in山形大学理学部

1月22日、1月29日に、山形大学理学部にて、高校2年次理系生徒78名を対象に体験型実習講座が実施されました。昨年度に引き続き、山形大学理学部理学科近藤慎一先生、宮沢豊先生より、「有機合成化学～アセトアニリドの合成～」、「DNA抽出とPCR法」のテーマで実施していただきました。

生徒の感想

・今回の講義を受けて、私はとても刺激を受けました。自分が全く知らない内容だったので強く興味を持ち、積極的に実験に参加することができ、高校ではなかなかできないような体験をすることができました。この体験型実習講座で体験したことを踏まえて、「大学に入ったならば、このような実験をするのか」、「このような実験をして、自分はどのような考えや発見をするのだろうか」と考えさせられ、今後の大学受験への意気込みをより一層大きなものとし、活かしていきたいです。(男子)

・今回、講座に参加してみて、今まで知らなかったことをたくさん知ることができた。DNAは一度学習した分野だったので理解できていると思っていたが、まだまだ知らないところもあり、もっと詳しく学習してみたいと思った。また、実際に自分達でDNAの抽出とPCR法という実験をしてみて、やはり実験は面白いと思った。使ったことのない器具も使用したが、実験を成功させることができたので良かった。今回の実験結果をもとにDNAの長さをしっかり求めてみたいと思った。(女子)

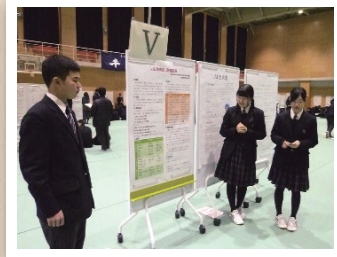
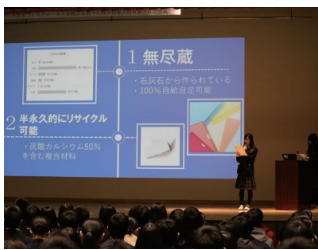


未来創造プロジェクト合同発表会

2月17日(土)に、SSH事業の一環である未来創造プロジェクト「探究活動」の締めくくりとして、中高合同での発表会が開催されました。午前の部は、中学1、2年から6作品(各3作品)、高校2年から5作品が代表として本校体育館ステージ上で発表を行い、午後の部は代表作品を除いた他のすべてのグループが一斉に発表を行いました。中学校はパワーポイント、高校は「SSH生徒研究発表会」にならいポスターセッションという形式をとりました。県産業技術振興機構理事長 結城 章夫先生や東京大学高大接続研究開発センター教授 白水 始先生をはじめとするSSH運営指導委員の皆様、東北芸術工科大学の先生方、県教育センター並びに外部の中学校・高校からお越しくださった先生方、そして多くの保護者の皆様にご参観いただき、大盛況で幕を閉じました。また、高校1年次生も参観し、来年度の探究に向けて様々なヒントも



得られたようです。高校2年次生は10月に行われた中間発表会で出た課題や発見を基に、更なる深い探究を行ってきました。発表時は、最後まで意欲をもって取り組んだことが明確にうかがえ、生徒も以前より自信をもって表現できたようです。質疑応答も中間発表より活発でした。疑問や問題から各自が課題を設定し、実験やフィールドワーク等を通したオリジナルの発見で解決策を見出し、まとめ・表現するという探究のプロセスを、身をもって体験し、理解する一年となりました。



つくばサイエンスツアー

3月19～20日に理系希望者28名が筑波の施設を巡り、科学への興味・関心を深めてきました。

1日目 「物質・材料研究機構」「防災科学研究所」

2日目 「高エネルギー加速器研究機構」「筑波実験植物園」「国立環境研究所」「筑波宇宙センター」

詳しくはH2D!



研修先の各施設では、研究者や職員など全ての方々が熱意を持って説明して下さいました。科学技術が私たちの生活にもたらす影響のみならず、植物の多様性、そして宇宙など、多様な観点で科学を見つめ直すことが出来ました。改めて私たち一人ひとりが何をしなければならないかを考える機会になりました。